

# 株主通信

2012年度上半期決算のご報告 2012.4.1-2012.9.30  
株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード: 3774



Internet Initiative Japan

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本で初めてインターネットの本格商用サービスを手掛けた弊社は、今期で20年の歴史を重ねることとなりました。情報通信という基盤インフラの世界で進行するインターネットという巨大な技術革新は、世界の政治、経済、産業から暮らしに至る

まで、様々な仕組みを根本的に変えつつあると言っても過言ではありません。情報通信分野では、固定から無線回線、携帯電話からスマートフォン等への変化のなかで、利用形態、通信トラフィック量、事業モデルなど、技術革新を伴いながら、日々大きな変化が生じています。20年間にわたりインターネットの技術面でイニシアティブをとり続けてきた弊社は、今後もそのポジションを確保しながら、事業の拡大及び発展に邁進してまいります。

2012年度上半期におきましては、長期的な視野にたって、変化に対応できる事業構造の構築と、事業拡大のための諸施策の遂行に努めてまいりました。既存事業の継続的な拡大に加え、1)クラウドサービスのラインナップ拡充と事業規模拡大、2)国際事業の展開加速、3)技術開発の強化、4)先行投資的事業の黒字化等に注力いたしました。1)については、新たなコンセプトとなるクラウドサービスの開発及び投入を続け、確固たるポジションを築き上げております。2)については、アジア・欧州の展開を強化し、また米国におけるクラウドサービ

スの提供拡大と大型プロジェクトの継続獲得遂行もあり、展開に加速度がついてきました。3)については、世界的にも焦点となっているネットワークの仮想化を目指すSDN(Software Defined Network)の開発に注力し、計画通りに本年度下半期に製品提供を開始いたしました。4)については、ATM運営事業が第1四半期より黒字に転じております。

このような事業進捗により、2012年度上半期の連結業績は、売上高511.1億円(前年同期比8.3%増)、営業利益32.6億円(前年同期比33.3%増)、当社株主に帰属する四半期純利益20.1億円(前年同期比47.4%増)と大幅な増収増益を達成することができました。

弊社は、今後も引き続き、インターネットの技術革新をリードし、アウトソースの流れがより強まっていくであろう企業情報システムを支えていくことにより、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
鈴木 幸一

## 2012年度上半期 連結業績について

2012年度上半期の営業収益(売上高)は、前年同期比8.3%増の511.1億円となりました。これは主に、ネットワークサービス事業者等の広帯域利用が著しく増加するとともにアウトソーシングサービスも好調であったことにより、ネットワークサービス売上高が増加したことや、システム構築案件の規模拡大及びクラウドサービスのシステム運用保守売上の堅調な増加によって、システムインテグレーション売上高が増加したことによるものです。

2012年度上半期の営業利益は、ネットワークサービスの売上総利益の増加やATM運営事業の黒字化等により前年同期比33.3%増の32.6億円となりました。

### サービス別業績について

#### ● ネットワークサービス

	2011年度上半期	2012年度上半期
■ 売上高	313.2億円	322.6億円 (3.0%増)
■ 売上総利益	62.8億円	68.8億円 (9.6%増)
● 広帯域利用のインターネット接続サービスの伸長		
● セキュリティ関連サービス等のアウトソーシング売上堅調		

#### ● システムインテグレーション(機器販売含む)

	2011年度上半期	2012年度上半期
■ 売上高	153.2億円	177.7億円 (15.9%増)
■ 売上総利益	30.5億円	31.3億円 (2.5%増)
● システム構築案件の規模拡大や海外案件追加		
● クラウドサービス「IIJ GIOコンポーネントサービス」の提供拡大		

#### ● ATM運営事業

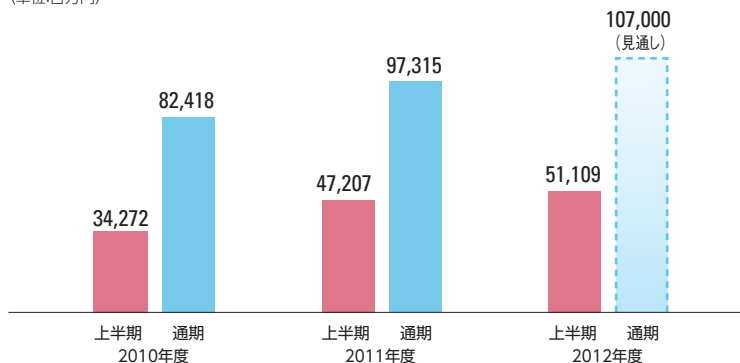
	2011年度上半期	2012年度上半期
■ 売上高	5.6億円	10.8億円 (5.2億円増)
■ 売上総利益	△ 0.9億円	1.4億円 (2.4億円増)
● ATM設置台数が順調に増加し黒字化		

(損失は△)

## 主要業績指標の推移

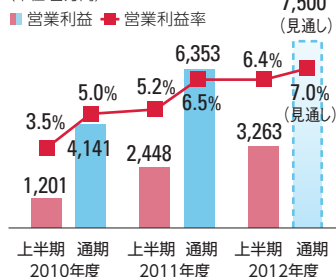
### 営業収益(売上高)

(単位:百万円)



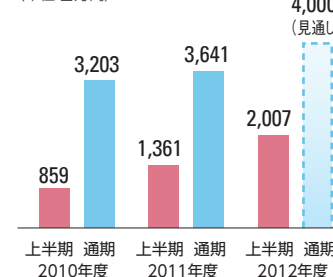
### 営業利益

(単位:百万円)

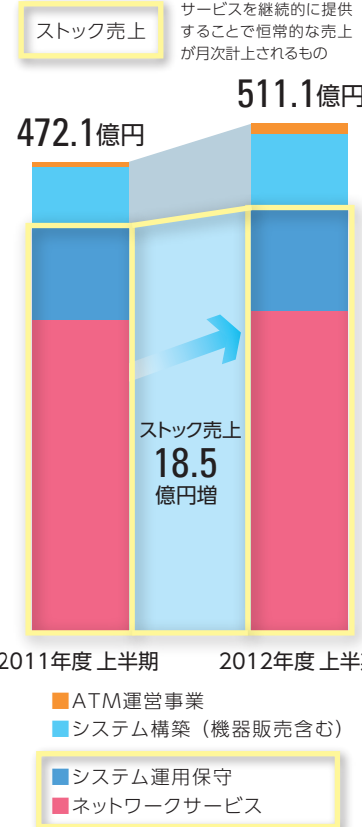


### 当社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



## サービス別売上高推移



## 連結業績ハイライト (単位:百万円)

	実績			公表見通し		
	2011年度上半期	2012年度上半期	前年同期比	2012年度上半期	実績見通し比	2012年度通期
営業収益(売上高)	47,207	51,109	8.3%増	50,500	101.2%	107,000
営業利益	2,448	3,263	33.3%増	2,700	120.8%	7,500
税引前当期純利益 *1	2,291	3,176	38.7%増	2,500	127.1%	6,900
当社株主に帰属する当期純利益	1,361	2,007	47.4%増	1,400	143.4%	4,000
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円) *2	33.59	49.51	47.4%増	34.54	143.4%	98.68

\*1 法人税等及び持分法による投資損益調整前当期純利益を指します。

\*2 2012年10月1日付で当社普通株式1株を200株に分割しており、当該株式分割に伴う影響を加味した数値を掲載しております。

## ■ クラウドサービス「IIJ GIO(ジオ)」の進展

当社は、2010年4月よりクラウドサービス「IIJ GIO」の提供を開始し、2012年9月末現在の導入件数は約1,500件、お客様の数は約850社と順調に事業規模を拡大しております。2012年度上半期における「IIJ GIO」の売上高は、前年同期における売上高12億円と比べて約2倍の26億円と大幅に増加いたしました。クラウド市場は今後より一層拡大していくと期待されておりますが、当社は継続して「IIJ GIO」の市場浸透に努め、更なる成長を目指します。

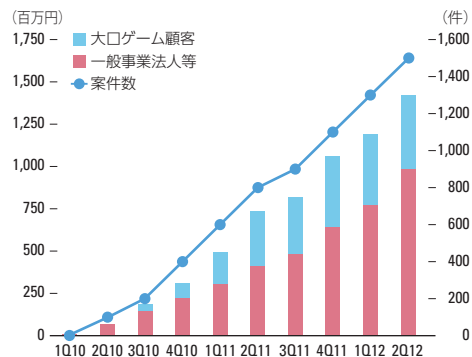
また、2011年4月より稼働している、商用として日本初の外気冷却コンテナ型データセンター「松江データセンターパーク」はBCP(事業継続計画)・省エネ・低コスト・安定性等の観点で注目を集め、「グリーン・グリッド データセンター・アワード2012 特別賞」等複数の賞を受賞いたしました。さらに、当社は日経BP社「第5回クラウドランキング」において「ベストブランド」等を獲得しており、クラウド事業者としての認知度・技術力・信頼性・実績が認められています。



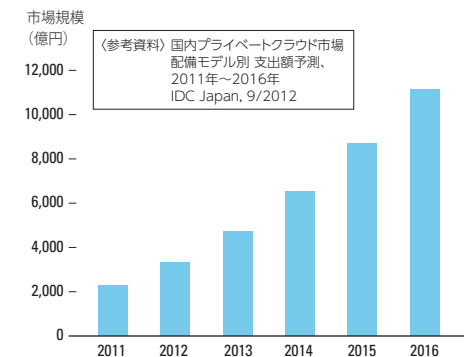
### 松江データセンターパーク当年度受賞実績

- MM総研大賞2012 グリーンIT賞 (株)MM総研主催)
- グリーンITアワード2012 商務情報政策局長賞 (グリーンIT推進協議会主催)
- 2012年グッドデザイン賞 (公益財団法人日本デザイン振興会主催)
- グリーン・グリッド データセンター・アワード2012 特別賞(グリーン・グリッド主催)

### 国内 IIJ GIO 売上高・案件数推移



### 国内クラウド市場規模予想



## ■ 国際事業の進展

当社グループは、2011年度より国際事業の規模拡大に向けて注力しており、2012年度上半期における国際事業の売上高は、国内SNSゲーム顧客の米国及び欧州におけるプライベートクラウド構築・運用や、米国向けクラウドサービス需要の継続的拡大もあり、計画を上回る約21億円となりました。

2012年4月には、国際事業強化の一環として、海外各国でのSI(システムインテグレーション)事業に強みのある(株)IIJエクスレイヤを子会社といたしました。

日本企業の海外進出が加速していくなか、当社は(株)IIJエクスレイヤ、既存子会社である(株)IIJグローバルソリューションズ及びIIJ America Inc.と一丸となって、顧客ニーズに応じたシームレスなネットワークを提供すべく、引き続き国際事業の展開を進めてまいります。

### ■ 提供中の国際サービス

- 米国インターネット接続サービス ● 米国、中国でのクラウドサービス
- 国際WAN、国際インターネットVPNサービス
- 海外でのサーバ構築・運用等 SI事業 ● マルチリンガル(日・英・中)のヘルプデスク

- 》 海外大口サーバ構築案件の継続獲得
- 》 顧客に応じた更なる海外クラウド展開の検討・企画中
- 》 国際WAN案件、商談規模200件と増加中

### IIJグループ海外拠点



## 株式分割実施及び単元株制度採用のお知らせ

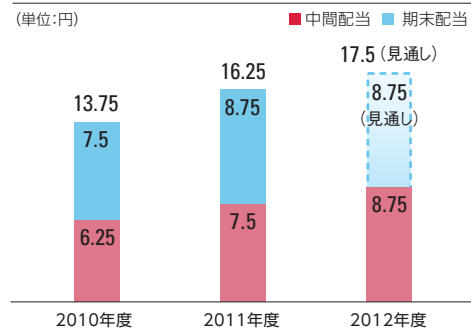
2012年10月1日付にて、1対200の株式分割を実施し、併せて100株を1単元とする単元株制度の採用をいたしました。

上記により、2012年10月1日以降、以下の変更が生じております。

- 株式売買単位：1株 .....> 100株
- 発行済株式総数：206,478株 .....> 41,295,600株

本件の単元株制度採用は全国証券取引所発行の「売買単位の集約に向けた行動計画」に基づいたものですが、株式分割を同時に実施することにより、投資単位当たりの金額を引き下げました。

1株当たり配当額(円/株) ※



(※)2012年10月1日付の株式分割に伴う影響を加味し過及び修正をした数値を掲載しております。また、2012年度の実際の中間配当金(基準日:2012年9月末)は、株式分割実施前に係るものであるため、1株につき1,750円となります。

## 会社概要 (2012年9月30日現在)

会社名	株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング TEL: 03-5259-6500 E-mail: ir@iij.ad.jp URL: http://www.iij.ad.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 2006年12月上場(証券コード:3774) 米国ナスダック 1999年8月上場(ティッカーシンボル:IJJI)
設立年月日	1992年12月3日
資本金	14,295百万円(単体)
連結従業員数	2,081名
事業内容	インターネット接続、アウトソーシング、WANサービスの提供、ネットワークシステムの構築及び保守運用、通信機器の開発及び販売、ATM運営事業
国内支社・支店	関西支社、名古屋支社、九州支社、札幌支店、東北支店、北陸支店(※)、中四国支店、横浜営業所、豊田営業所、沖縄営業所 (※)北陸支店は、2012年10月1日をもって北信越支店に名称変更いたしました。

## 株式情報

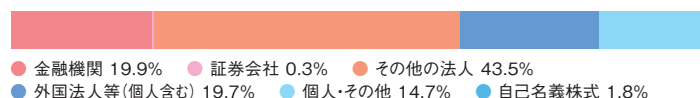
(2012年9月30日現在)

### 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本電信電話株式会社	50,475	24.4
鈴木幸一	13,046	6.3
伊藤忠商事株式会社	10,430	5.1
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	10,200	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,343	4.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS(※)	6,678	3.2
MORGAN STANLEY & CO. LLC	6,592	3.2
GOLDMAN SACHS & CO. REG	6,479	3.1
第一生命保険株式会社	6,365	3.1
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	5,808	2.8

(※)THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERSは、預託銀行にて当社の株式を預託し、当社米国預託証券を発行するにあたっての預託名義であり、同所有株式数は、発行されている当社米国預託証券に相当する預託株式数です。

## 株式所有者別分布図



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11 TEL 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町 1-10 TEL 0120-176-417(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.iij.ad.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。

●ご注意 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## Webサイト「株主・投資家向け情報」のご案内

当社の事業内容や最新情報についてご興味をお持ちの株主・投資家の皆様は、ぜひ当社のホームページをご覧ください。決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースやFAQ集等のコンテンツを充実させております。



URLはこちら

<http://www.iij.ad.jp/ir/>